

カーヤこども食堂 活動報告書

開催場所 京都スパイスカレーKAAYA

参加費 こども 無料 / 保護者 300 円

開催日 2023 年 3 月

3 日、10 日、17 日、22 日、24 日、27 日、31 日

★3 日 14:00～17:00 「おやつのじかん」

おやつ 手作り (メープルマフィン、カレーおにぎり、メイプルクッキー、チョコクッキー、きなこのクッキー)、麦茶、カルピス、ロイズ黒糖チョコ

参加者 こども 17 名 保護者 0 名

★10 日 14:00～17:00 「おやつのじかん」

おやつ 手作り (メープルマフィン、カレーおにぎり、メイプルクッキー、チョコクッキー、きなこのクッキー)、麦茶、カルピス、チロリアン

参加者 こども 17 名 保護者 0 名

★17 日 14:00～17:00 「おやつのじかん」

おやつ 手作り (りんごジャムマフィン、カレーおにぎり、メイプルクッキー、チョコクッキー、きなこのクッキー)、麦茶、カルピス、あわチョコショコラバナナ味

参加者 こども 31 名 保護者 1 名

★22日 11:30～19:30 「カレーの日」 (予約制)

食事 チキンカレー、キャベツとわかめのスープ、麦茶

※卵、乳は不使用

ブックシェアリングを同時開催

配布 あわチョコショコラバナナ味、ビックリマンチョコ、ハンドクリンなど
の衛生用品

参加者 こども 14名 保護者 8名

※体調不良での当日キャンセルが3世帯ありました。

★24日 14:00～17:00 「おやつのじかん」

おやつ 手作り (メープルマフィン、カレーおにぎり、メイプルクッキー、チョコクッキー、きなこのクッキー)、麦茶

参加者 こども 33名 保護者 1名

★27日 16:30～19:00 「王将のお子様弁当無料配布とフード・パントリー」

参加者 こども 27名 保護者の方 23名

配布 お米、カップ麺、ビックリマンチョコ、歯ブラシ、歯磨き粉、キラキラ
のシール、ハンドクリンなど衛生用品

★31日 14:00～17:00 「おやつのじかん」

おやつ 手作り (メープルマフィン、カレーおにぎり、メイプルクッキー

一、チョコクッキー、きなこのクッキー)、麦茶、あまおう苺

参加者 こども 11名 保護者 1名

ご支援 お米 1合、お米 1kg、お米 10kg、いちご 6 パック、砂糖 4 袋、ビックリマンチョコ 150 個、お菓子 84 袋、顆粒だし 1 袋、パスタ 18 袋、パスタソース 18 袋、カップ麺 24 個、生理用品 17 袋、歯ブラシ 55 本、絵本 9 冊

参加費 11名 3,300 円、バッジ 1 個 300 円、寄付 14,250 円

今月は店内飲食と持ち帰りをあわせて、延べ人数こども 150 名と保護者 34 名で合計 184 名の参加がありました。フード・パントリーでは、お米や乾物などの食品、調味料、お菓子、ハンドクリンなどの衛生用品、を参加者に配布しました。

今月も、継続して食材などを支援してくださる個人のサポーターや、フードバンクと NPO 団体の方々、参加者によるボランティアにお世話になりました。

カレーの日について、今月は風邪などの体調不良によりキャンセルが 3 世帯ありました。やはり季節の変わり目は寒暖差や花粉症など気をつけていても体調不良になりやすい時期なのだと改めて感じました。

おやつのじかんは、17 日にこども 31 人の新記録で用意していた焼き菓子とおにぎりが全てなくなってしまいました。翌週の 24 日にはこども 33 名でま

たも記録更新となりました。24日は終業式の日で参加者が多くなると予想しており 40名分ほどの焼き菓子とおにぎりを用意しておいたので、どうにか乗り越えることができました。いつも参加しているこどもと一緒に初めて参加するこどもが増えてきて5人以上で来ることもあり、今までとは違う賑やかな雰囲気に馴染めない参加者のこどもが数名確認できました。あと、言葉遣いが乱暴であったり、人の悪口や人をばかにするような言葉を発するこどもが数名おり気づいたときには注意するのですが、直接関係ないこどもが見ていた嫌な思いをしていると感じる場面がありました。改めて、こどもたちにカーヤこども食堂がどういう場所であるか説明するためにイラスト入りの説明書きを用意して「みんなが楽しめる場所」「だれも傷つけない場所」「自分も傷つかない場所」この3点を理解して参加してもらえるように、こどもたちに伝え続けていこうと考えています。

3月28日(火)に、ひと・まち交流館 京都で開催された「子どもの成長を応援する場で学ぶ！性教育講座」を受講してきました。この講座は「NPO法人お客様がいらっしゃいました.」の方がメインでお話をされていました。この団体は「生理の貧困」をはじめ、生理に悩まれている方への支援や生理に対する理解が高まることを目標に京都市内を中心に同志社大学、立命館大学などの学生さんが啓蒙活動や生理用品の寄付の受付や配布、性教育の出前授業などの活動をされています。生理にまつわる問題解決のために、まっすぐ前向きで一所

懸命な印象を受けました。私たちも「生理の貧困」や性教育の大切さについては、常々考えている問題なので、いい刺激をいただけました。新年度に向けて新しい挑戦を始める準備を急ごうと思います。

カーヤこども食堂運営委員会

木村